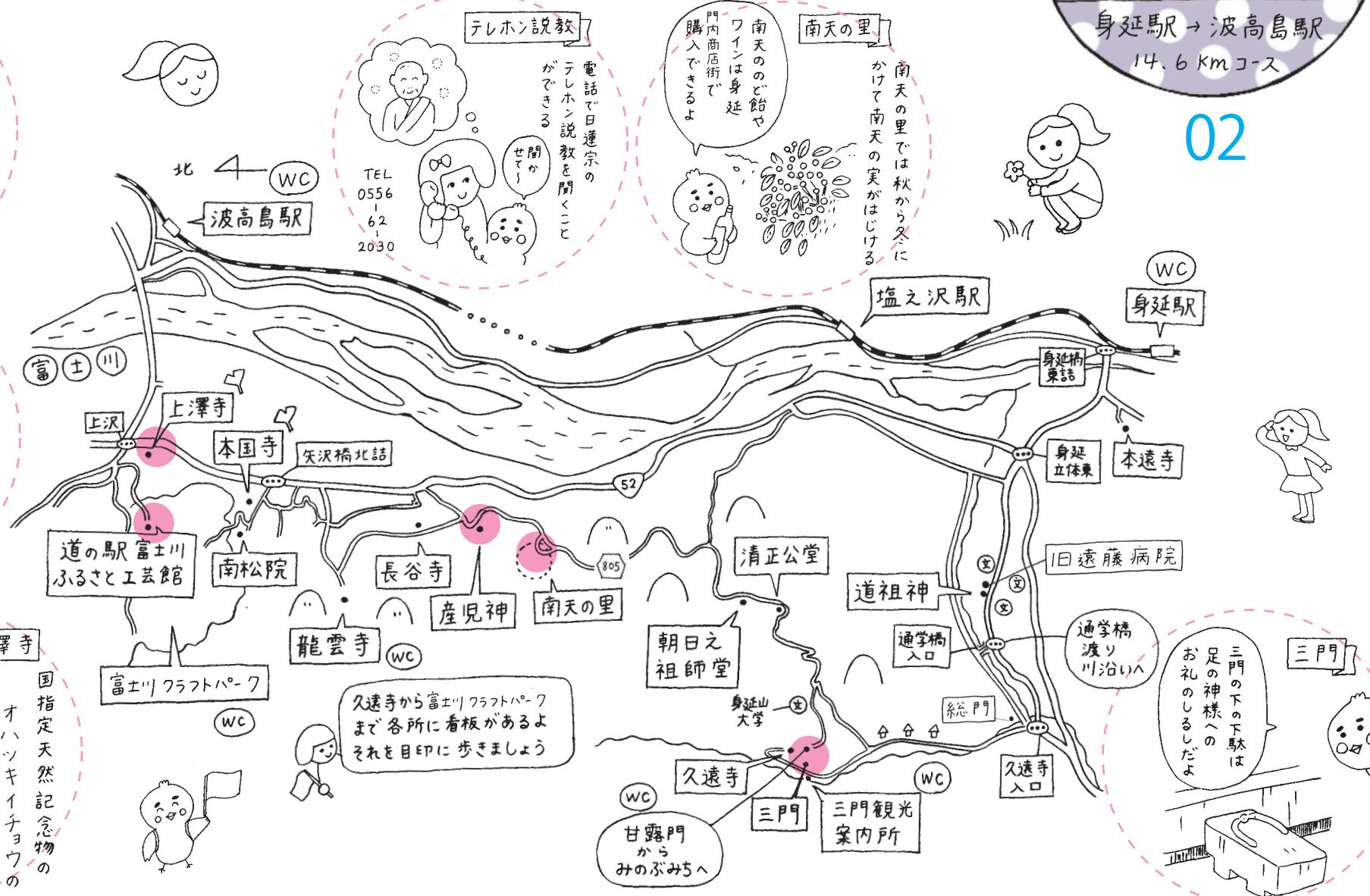


02



身延町フットバス ガイドブック片手に みのぶらり

(掲載されている記事は、内容見本です。)



02

24

「書院」は、お万の方の
屋敷を移したものである。

本道寺は明治の大火で、ほんとの建物があつたのは本堂と鐘楼堂だけ。現在本堂がある書院跡は、元はこの方の屋敷を新築したもののです。屋敷跡は、お万の方の「お萬屋敷」などから名づけられています。



04

法喜山上澤寺にある
国指定天然記念物「オハツキサカサ
イチヨウ」の実の銀杏は
犬の牙の形をしている。

身延町をみのぶらりする
フットパスマップは
「駅間」マップが8種類。
「駅から」マップが7種類。駅などで無料配布中。

身延町のフットパスガイドブックは
9種類。全部そろえて、ぶらみのぶ！

身延町フットバス ガイドブック



このガイドブックの販売所

身延町内公共機関
山梨県立博物館ショップ
やまなし観光推進機構
朗月堂書店貢川店

へー！と驚く話題満載。
県内200種類のコース、完備。
1冊200円(税込)。

お問い合わせは下記へ。

080-1223-8302(つなぐNPO)

昭和五十九（一九八四）年の初夏、映画「吉永小百合はな」がJR身延線波高島駅で行われました。映画の原作は宇野千代。監督は市川尾（いしかわこう）による東宝映画でした。主演の吉永小百合（おはん役）が腰掛けたのが、波高島駅プラットホームに現在もあるケヤキ一枚板のベンチです。

波高島駅そのものの風景は、その頃からほとんど変わっていませんが、撮影した当時の駅前通りには桜並木があり、いろいろな商店が並んでいたそうですが、当時の面影を残す桜の古木が今も少しだけ残っています。



01

吉永小百合は、
映画「おはん」のラストシーンで
波高島駅のベンチに座った。